

京都植物バイテク談話会・
京都府立大学大学院
生命環境科学研究科共催

第54回 植物バイテク シンポジウム



Fascination of
Plants Day
May 2019

国際植物の日 市民公開シンポジウム

進化のダイナミズム ～生物のゲノム変化が暮らしを変えた～

遺伝子検査やゲノム編集など、遺伝子が関係する新しい技術が私たちの暮らしと様々に関わっています。しかし、そもそも遺伝子やゲノムとは何でしょう？また、生物が進化する時、遺伝子はどのように変化するのでしょうか？このシンポジウムでは、桜や柿、小麦など身近な植物のゲノム解析の最新の成果、さらに腸内細菌や動物の進化なども取り上げ、ゲノムの変化と生物進化についてわかりやすく紹介します。生物進化の基礎にゲノム変化があることと、それが人間生活に密接に関係していることを理解していただくことを目的としています。

植物や進化に興味のある方はもとより、新しい遺伝子技術の背景を知りたい方など、多くの方のご参加をお待ちしています。

日時：
2019年5月16日（木）
14:00～17:30
場所：京都学・歴彩館
大ホール

〒606-8522
京都市左京区下鴨半木町1-5
京都府立大学
<http://www.kpu.ac.jp/>

アクセス
○地下鉄烏丸線「北山駅」
1番出口、南へ徒歩4分

○バス「府立大学前」北へ徒歩6分
市バス204, 205, 206番, 北8系統他
「北山駅前」南へ徒歩4分
市バス4系統、北8系統



- | | |
|-------------|--|
| 13:20- | シンポジウム・受付 |
| 14:00-14:05 | はじめに |
| 14:05-14:40 | 動物の多細胞化とゲノムの進化
菅 裕 (県立広島大学生命環境学部) |
| 14:40-15:15 | ソメイヨシノのゲノム情報で来年の桜の開花日は
予想できるのか
白澤 健太 (かずさDNA研究所) |
| 15:15-15:50 | 腸内細菌叢と疾患について
井上 亮 (京都府立大学生命環境科学研究科) |
| 16:10-16:45 | 柿における性決定の進化
赤木 剛士 (岡山大学農学部) |
| 16:45-17:20 | ゲノム研究は日本のコムギ研究にルーツあり？
半田 裕一 (京都府立大学生命環境科学研究科) |
| 17:20-17:30 | 総合討論 |

【シンポジウム参加方法】

シンポジウムは公開で行います。参加希望の方は、13:20から受付を開始しますので、会場に直接お越しください。

【情報交換会参加申し込み方法】

シンポジウム終了後に講演者を囲み情報交換の場を設けます。参加希望者は、E-mailまたはFAXにて、氏名・所属機関を明記のうえ、2019年5月9日（木）までにお申し込みください。 情報交換会会費：3,500円（一般）、1,000円（学生）

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5 京都府立大学 大学院生命環境科学研究科 椎名隆 宛

TEL&FAX: 075-703-5449 E-mail: shiina@kpu.ac.jp

主催：京都植物バイテク談話会 <http://www2.kpu.ac.jp/assoc/kpba/>